事業シート（令和9年度予算）

事業名	81100　消防本部運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
					款	8	消防費			ポイント				
担当課	消防本部　消防総務課・指令課・救急課	内線	2119		項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
					目	1	常備消防費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 ・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。	概要	・消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 ・高機能消防指令システムの保守点検

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		151,396	149,569	101,337			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 県移譲事務交付金 ）	1,143	535	322			
	その他（ 消防手数料、白川村受託事業収入　等 ）	10,771	11,088	5,699			
一般財源		139,482	137,946	95,316			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防本部の管理運営	93,856	92,029	101,337			
	消防指令システムの運用	57,540	57,540				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 / 市長査定額	154,000 / 増減 (d)-(c)
153,694			52,357
629			307
7,567			1,868
145,498			50,182
要求額	説明		
110,336			
43,358			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・火災出動　38件、救急出動　4,772件、救助出動　61件（令和7年1月～令和7年12月中） ・消防署施設及び通信指令装置等の保守点検、維持管理を行った。 ・緊急通報の多言語対応を行った。災害対応　16件 ・Net119（言語聴覚障がい者向け）緊急通報システムの運用（登録者32名、通報実績0件）	
評価等	・施設の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 ・高機能消防指令システムの効率的な運用及び多言語対応により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。 ・Net119緊急通報システム運用により、言語聴覚障がい者の安心と円滑な119番通報が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81110　消防署運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
担当課	消防本部　消防総務課	内線	2119		款	8	消防費			ポイント			市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
					項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観		
					目	1	常備消防費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理（白川出張所は白川村から消防事務を受託）

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		39,931	39,052	39,620			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（白川村受託事業収入、消防施設等使用料）	2,586	2,658	2,966			
一般財源		37,345	36,394	36,654			

新規・拡充	主な事業内容						
	消防庁舎の管理運営	39,931	39,052	39,620			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / R9予算 増減 (d)-(c)
			41,100
41,282			1,662
2,557			△ 409
38,725			2,071

要求額	説明
41,282	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・消防庁舎（本署1、分署3、出張所4）や機械器具の維持管理を実施した。 ・各署所の施設修繕を行った。（訓練棟床防水修繕（高山）、駐車場擁壁修繕（大野）、訓練棟外壁修繕（大野）、雨樋修繕（白川）等）	
評価等	・施設・設備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81120　予防事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
					款	8	消防費			ポイント				
担当課	消防本部　予防課	内線	2118		項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
					目	1	常備消防費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施等により、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		1,143	1,137	1,350			
特定財源	国費（　）						
	県費（　県移譲事務交付金　）	1,143	1,137	1,350			
	その他（　）						
一般財源		0	0	0			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
	火災予防のための啓発	1,143	1,137	1,350			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			1,200
1,198			△ 152
1,198			△ 152
0			0

要求額	説明
1,198	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・年度計画の739件を上回る794件の立入検査を実施した。（重大違反31件中28件是正） ・防火管理に関する講習を企画運営した。（甲種防火管理新規講習は2回のうち1回をオンライン講習で開催。受講者は延べで受講102名、甲種防火管理再講習は受講22名。） ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間を主体として住宅用火災警報器の維持管理、感震ブレーカーの普及を促す火災予防の推進を行った。 （住宅用火災警報器設置率：96.5%） ・市立中学校少年消防クラブリーダー研修を実施した。（参加者67名）	
評価等	・立入検査は計画数より多く実施でき、違反是正指導の推進ができた。 ・防火管理講習はオンラインと対面を実施したが、オンライン講習の回数を増やす余地がある。 ・火災予防運動などを通じて、住宅用火災警報器の維持管理及び感震ブレーカーの普及を積極的に行うことができた。 ・少年消防クラブリーダー研修に、消防フェスティバルボランティアを加え、活動を通じて将来の地域防災の担い手の育成を図った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・立入検査を継続的に実施し、違反是正を推進する。 ・住宅における火災の予防を推進するため、木造密集地域の感震ブレーカーの普及を重点的に取り組む。 ・複雑多様化する火災原因調査を行うため、鑑識資器材を整備充実し、調査員の知識・技術の向上を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81130　警防事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
					款	8	消防費			ポイント				
					項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
担当課	高山消防署　警防課	内線	2117		目	1	常備消防費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適（良）な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 ・緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 ・保有する消防力（人、車両、装備、資器材）を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。	概要	・各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 ・広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 ・各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		23,644	23,574	20,210			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（ 白川村受託事業収入 ）	1,420	1,460	1,730			
一般財源		22,224	22,114	18,480			

新規・拡充	主な事業内容						
	車両・資機材の維持管理	23,644	23,574	20,210			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	18,100 増減 (d)-(c)
22,383			2,173
1,651			△ 79
20,732			2,252

要求額	説明
22,383	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・消防車両26台と救急車両11台の車検整備及び法定点検等を実施し、各種出動に迅速に対応できる出動体制の維持に努めた。 ・岐阜県防災航空隊、岐阜県警等との合同訓練を実施し、連携強化を図った。 ・緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練の開催地消防本部として企画、運営に携わり、消防広域応援体制の強化を図った。	
評価等	・保有する車両、資器材の適正な維持管理、不具合の早期発見により、出動体制への影響を最小限に留めることができた。 ・近隣消防本部や警察、各関係機関との訓練や会議の実施により、現場活動の対応力向上と関係機関との連携強化を図ることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・消防救急車両及び災害対応資器材の点検整備を適正に行い、災害時に確実に運用できるよう維持管理する。 ・発生が危惧される特殊災害（大規模災害、土砂災害、NBC、テロ等）に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、部隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81140　救急事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
					款	8	消防費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
担当課	高山消防署　救急課	内線	2117		項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
					目	1	常備消防費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 ・救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。	概要	・救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 ・市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		10,488	10,444	11,153			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金）	5,258	7,741	5,434			
一般財源		5,230	2,703	5,719			
新規・拡充	主な事業内容						
	救急救命士の養成	1,290	1,274	1,470			
	資器材の維持管理	9,198	9,170	9,683			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	10,600 増減 (d)-(c)
12,486			1,333
5,311			△ 123
7,175			1,456

要求額	説明
1,319	
11,167	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・救急救命士の再教育を実施した。 ・新処置認定救命士を2名養成した。 ・気管挿管認定救命士を1名養成した。 ・公募による普通救命講習を9回、事業所等各種団体からの要請による救命講習を235回開催し、計3,964名が救命講習を受講した。	
評価等	・救急救命士の再教育（病院実習を含む生涯教育）の充実と各種認定救命士（薬剤・新処置・気管挿管）及び指導的立場の救命士を継続的に養成する必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・救急救命士の再教育（病院実習を含む生涯教育）の充実と各種認定救命士（薬剤・新処置・気管挿管）及び指導的立場の救命士を継続的に養成する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81200　消防団運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
					款	8	消防費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
担当課	消防本部　消防総務課	内線	2119		項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
					目	2	消防団費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・消防団の活動が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努める。 ・市域における火災や災害等から地域住民の生命・財産を守ることで、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・報酬等の支給 ・消防団行事等の企画、運営 ・消防団員への各種表彰の具申等 ・消防団施設・資器材等の維持管理 ・消防団員の入団促進、確保対策の取組み

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)−(a)
		284,657	280,535	253,769			
特定財源	国費（　消防団の力向上モデル事業委託金　）						
	県費（　　）						
	その他（　退職報償金、公務災害補償費　）	53,900	60,014	23,800			
一般財源		230,757	220,521	229,969			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)−(a)
	出動報酬の支給	55,000	56,617	55,000			
	退職報償金	63,517	64,014	24,920			
	消防団員の安全装備	14,700	14,677	19,000			
○	活動支援団員の新設						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	285,000 増減 (d)−(c)
285,957			32,188
55,833			32,033
230,124			155

要求額	説明
60,028	
61,075	
11,993	
1,204	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・災害出動や警戒出動など被害の軽減や災害の未然防止を図り、市民の安全・安心の確保に努めた。 ・フォトコンテストを実施した。（応募37点・入賞6点） ・消防団員の自動車運転免許（準中型）取得に係る費用の助成を行った。 ・消防操法大会のあり方を見直し、大会に代わるものとして参加型の消防フェスティバル第3回目を開催した。（来場者約1,000人（雨天）） ・消防団員の災害時自家用車使用に係るマイカー保険へ加入した。 ・消防団員の高視認性防寒衣410着、耐切創性手袋380双を配備した。	
評価等	・団員募集ポスターを事業所等に配布・掲示を依頼し、広く加入促進を行った。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金は、準中型免許取得5名が活用した。 ・高視認性防寒衣、耐切創性手袋を順次配備、活動中の視認性及び安全性が向上した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・消防団員の処遇改善に継続して取り組み、入団促進、団員確保に繋げる。 ・消防団員自動車運転免許取得費補助金制度の利用促進を図る。 ・消防フェスティバルにおいて、市民に消防団活動の重要性、地域での役割などを分かりやすく伝え理解の促進とイメージアップを図る。 ・消防団員被服、装備品の整備を推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・活動支援団員の新設に必要な経費を計上 ・消防団員の任期替えに必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81300　消防施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	8	消防費
					項	1	消防費
担当課	消防本部　消防総務課	内線	2119		目	3	消防施設費

総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資
		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり
	分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観
		施策分野	(7)	消防・救急

根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		1,848,523	1,451,957	162,718			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 林業費補助金 ）	3,000	3,000				
	その他（ 飛騨高山ふるさと基金繰入金、緊急防災減災事業債 等 ）	252,600	212,800	72,300			
一般財源		1,592,923	1,236,157	90,418			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団車庫の整備	38,960	33,363	46,570			
	消防署等の改修			64,948			
	消防指令システム等の更新整備	1,796,723	1,406,843	51,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	49,000 増減 (d)-(c)
61,946			△ 100,772
7,400			△ 64,900
54,546			△ 35,872
要求額	説明		
17,653			
44,293			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・消防団車庫を建て替えた。（久々野支団中組班） ・高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム総合整備事業（システム整備、庁舎改築）を実施した。 ・車庫重量シャッターを更新した。（高山）	
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、消防団施設の整理を推進した。 ・高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムの整備により、円滑なる通報の受信、指令、部隊運用が促進された。	
次年度以降の考え方（担当課）	・公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した消防団車庫の建替えや改修を計画的に推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81310　消防車両整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
					款	8	消防費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
担当課	消防本部　消防総務課・警防課・救急課	内線	2119		項	1	消防費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します
					目	3	消防施設費			施策分野	(7)	消防・救急		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・消防車両（署・団）を適正に配置する。 ・老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防車両、消防団車両の計画的な更新整備

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		246,500	180,928	36,100			
特定財源	国費（　消防施設等整備事業費　1/2　）	20,000	21,126				
	県費（　　）						
	その他（　緊急防災減災事業債、過疎対策事業債、夢まちづくり基金　）	204,000	139,600	23,800			
一般財源		22,500	20,202	12,300			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団車両の整備	120,000	58,030				
	常備消防車両の整備	126,500	122,898	36,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	186,000 増減 (d)-(c)
145,600			109,500
76,500			52,700
69,100			56,800
要求額	説明		
89,600	債務負担：R8～R9		
56,000	債務負担：R8～R9		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し、大野分署に配備した。 ・警防搬送車（ワンボックス車）1台を更新し、国府分署に配備した。 ・高規格救急自動車1台を更新し、国府分署に配備した。 ・消防団小型動力ポンプ付積載車1台（国府支団上広瀬班）、消防団小型動力ポンプ付汎用積載車3台（清見支団池本班、久々野支団上組班、中組班）を更新した。	
評価等	・消防車両の計画的な更新整備と適切な維持管理により、地域消防力の充実、強化を推進した。 ・老朽化した車両を更新整備し、消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・消防車両の更新は経過年数による整備計画を基本としながらも、老朽化の度合いに応じ調整を図る。 ・常備消防車両と消防団車両の更新については、平準化に向けた調整を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81320　消防水利施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	8	消防費
					項	1	消防費
担当課	高山消防署　指令課	内線	2117		目	3	消防施設費

総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資
		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり
	分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観
		施策分野	(7)	消防・救急

根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 ・消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	・耐震性貯水槽を整備する。 ・損傷、老朽化がみられる消防水利の改修、修繕 ・防火水槽の清掃（土砂除去等による環境改善と水量維持）

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		44,700	42,873	47,800			
特定財源	国費（　消防防災施設等整備費　1/2　）	7,993	8,326	8,326			
	県費（　　）						
	その他（　過疎対策事業債　）	16,000	16,800	19,800			
一般財源		20,707	17,747	19,674			
新規・拡充	主な事業内容						
	耐震性貯水槽の整備	24,000	25,150	27,400			
	消火栓の管理	16,000	14,928	16,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			45,000
48,503			703
8,536			210
20,300			500
19,667			△ 7

要求額	説明
28,840	
16,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・耐震性貯水槽（40㎥）を2箇所（上宝町、荘川町）に設置した。 ・防火水槽の清掃を2基行った。（堆積土砂除去等による環境改善及び水量維持） ・消火栓を10基更新した。	
評価等	・消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 ・老朽化した消火栓を計画的に更新する。 ・コスト縮減を図りながら、消防水利の適正な維持管理を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	81330　消防資器材整備事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	8	消防費
					項	1	消防費
担当課	消防総務課・警防課・指令課・救急課	内線	2119		目	3	消防施設費

総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資
		ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり
	分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観
		施策分野	(7)	消防・救急

根拠計画	消防計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅰ　くらしを守る 地域防災と減災への取り組みを強化します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・消防資器材及び初期消火資器材について、経年劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ的確な消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 ・自主防災組織の活動に必要な初期消火資器材の更新整備を図る。	概要	・計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 ・初期消火資器材の新規及び更新整備により初期消火体制の充実を図る。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「消防・救急救助体制が整っている」と感じている市民の割合	78.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)−(a)
		23,100	22,985	22,100			
特定財源	国費（　消防団設備整備費　）		335				
	県費（　消防団活性化促進事業費補助金　）		508				
	その他（　白川村受託事業収入、緊急防災減災事業債　）	1,880	1,196	560			
一般財源		21,220	20,946	21,540			
新規・拡充	主な事業内容						
	消防団資器材の整備	6,650	6,265	5,530			
	常備消防資器材の整備	9,450	9,910	9,570			
	初期消火体制の推進	7,000	6,810	7,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	31,600 増減 (d)−(c)
39,737			17,637
318			318
1,424			864
37,995			16,455

要求額	説明
7,325	
25,412	
7,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・常備消防上下式防火衣15着を更新整備した。 ・消防団用に夜間照明器具（発電機、LED照明器具）を8式整備した。 ・消防ホース53本を更新整備した。（常備25本、団28本） ・初期消火資機材格納箱29基及びホース116本を新規整備し、格納箱23基及びホース18本を更新整備した。 ・機械式心臓マッサージ器1器、自動式吸引器1台、CO2センサー1台を更新整備した。 ・救命講習用訓練人形2体、AEDトレーナー1台を更新整備した。 ・気道管理トレーナー小児1台、気道管理トレーナー乳児1台を整備した。	
評価等	・消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全確保、現場対応力の充実強化が図られた。 ・消防団における資器材や装備の計画的な整備により、地域消防力の充実強化が図られた。 ・初期消火資器材の更新により、自主防災組織（市民）が行う初期消火活動の安全が確保できた。 ・講習用資器材の充実を図ることで、市民への応急手当の普及啓発が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・更新整備した資器材を有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 ・消防団員の安全確保や負担軽減に配慮し、資器材や装備品を計画的に整備するとともに、国等の補助金を積極的に活用し経費削減に努める。 ・老朽化した初期消火資器材の更新及び、すべての消火栓に初期消火資器材を設置し、市内全域の消防力向上を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・高圧空気充填機、火山防災対策資器材、自動心臓マッサージ器、半自動除細動器等の整備に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	